

第6回「真如苑・郷土芸能保存継承支援助成プログラム」実施要綱

東日本大震災より10年の歳月が経過しましたが、今もなお被災地ではそれぞれの課題に向けた取り組みが続いております。復興に向けてさまざまな課題がある中で、特に「地域コミュニティの活性化」は大きな課題となっています。

遠野山・里・暮らしネットワークでは、これまで宗教法人真如苑様のご支援により仮設住宅での「ほっとひといき事業」や公営住宅での「公営住宅コミュニティ創造支援活動」など、地域コミュニティの活性化を図るとともに被災された方々の心に寄り添って活動を続けてきました。これらの活動により一定の効果が得られ、次の段階として「地域コミュニティの醸成」のための取り組みが必要となってきました。

自治会活動をはじめとする地域のコミュニティ活動は実に多様化してきましたが、近年では古来より地域の中で大きな役割を果たしてきた郷土芸能が見直され、各地で次々と復活を果たしています。

被災地においても、郷土芸能の保存継承が求められていますが、インフラ整備などに比べるとまだまだ充分とは言えず、むしろ後回しとなる傾向があります。震災などにより破損あるいは失われた道具や衣装などを修理・新調することすらままならない地域も多くあります。

また、このところのコロナ禍で活動そのものもままならない状況です。5年前から宗教法人真如苑様のご協力いただき「真如苑・郷土芸能保存継承支援助成プログラム」を立ち上げ、被災地域の郷土芸能の保存継承および活性化に向けた取り組みとして下記のように助成事業を実施させていただいております。

記

- | | |
|--------|--|
| 1 支援対象 | 岩手県沿岸被災地の郷土芸能団体
交付式の発表会に参加出来る団体であること |
| 2 支援額 | 1団体20万円以内（総額100万円 5団体程度） |
| 3 募集方法 | 芸能団体協議会、自治体などを通じてご案内します。
募集期間内に別紙申込書を自治体へご郵送ください。 |
| 4 募集期間 | 令和5年6月1日から7月31日 |
| 5 支援決定 | 自治体より推薦いただいて、提出された申込書により書類選考します。 |
| 6 助成方法 | 助成団体による発表会の場で交付式を行います。 |
| 7 日時 | 令和5年11月12日（日） 12時半～15時 |
| 8 場所 | 〒029-2203 陸前高田市高田町栃ヶ沢 210
陸前高田市コミュニティホール |

以上

真如苑とは

真如苑は、開祖の伊藤真乗が昭和11年（1936年）、東京都立川市に開いた仏教教団です。釈尊最後の教えとされる大般涅槃経を根本の経典とし、日常生活を修行の場として他のために行う利他の実践行を大切にしています。開祖が一貫して悩み苦しむ方の立場に立ち、その時にできる精一杯の支援活動を続けてきたように、志を同じくする多くの方々とのつながりを大切にしながら教育、障がい者福祉、環境保全、文化芸術や国際協力などの分野での社会貢献活動に取り組んでいます。東日本大震災に際してはボランティアの派遣や専門団体との連携による助成事業など、多方面にわたる支援を現在も継続しています。

事務局

認定 NPO 法人

遠野山・里・暮らしネットワーク

〒028-0514 遠野市中央通り 2-11

とおの物語の館内

TEL 0198-62-0601 FAX 62-0602

担当 桑畑 学

第6回「真如苑・郷土芸能保存継承支援助成プログラム」申込書

令和5年 月 日

認定 NPO 法人遠野山・里・暮らしネットワーク 行き

住 所 〒 —

団体名

代表者名 印

以下の通り郷土芸能保存継承支援助成を申し込みます。

団体名	
担当者	
担当者の連絡先 (書類郵送先)	〒 — 住所 TEL メール
助成希望額	円
助成金使途 (購入品等の内 訳、修理費等)	*購入品名、数量、金額、合計をご記入ください ・ ・ ・ ・ ・ 合計 円
その他	